

今 新田川では 天照御霊神社(あまてらすみたまじんじゅ)



ここは深野地区を流れる新田川のすぐ北側で
県道34号線を見下ろすところに鎮座します
村社です。

古めいた“きざはし(階段)”を、手すりを
頼って登ると、太い木々に囲まれ、周りは
きれいに手入れされていました。

二礼二拍手一礼

拝殿の入口の建具は檜で作られ、美しい光沢を
放ち、見事です。

少し高台にあり、東方を見下ろしてこの地を
守り、また、行き交う車の安全を願ってくれる
のでしょうか。

「平成24年東日本大震災復興祈願」と
刻まれた灯籠が1対、地元の有志の方で奉納
されていました。

地域の皆さんの深い信仰を集めているので
しょうね。

元旦に、階段の中ごろで、鳥居の間に初日の出
が拝めるそうです。

徳原 鳴呼
軒田 先生
原 軒田
先 先生
碑 銘
可 音 歿 原 鳴
得 容 八 田 呼
而 仿 年 先 白
略 佛 子 生 德
下 不 茲 之 軒
省 不 茲 之 軒

大工さん 今日は何のお仕事?



今回は鹿島小学校の
ジャングルジムの
交換工事です。
遊具の経年劣化と、
周りの木などが
近くて危ないため、
ひと回り小さな
ジャングルジムを
新設しました。
4月がスタートし、
新入生も在校生も
楽しく遊んでくれる
と嬉しいですね。



最近の遊具は安全性を考慮
した作りになっています。
ケガするなよ〜。

《社員紹介コーナー》



土木作業および補助作業の佐野です。
やる気満々で、朝は一番の出勤です！
雨にも負けず、風にも負けず…がびったりの彼。
時にはコケることもあったり、仲間の笑いを
誘ったりと、現場のムードメーカーです。
お酒は適量(本人申告)で、魚が好き。
休みの時は親の実家の手伝いに行くこともある。
そんな彼は独身…よきパートナーを募集中
のようです(*^-*)

建築資材の豆知識 (コンクリート)

建物の基礎や舗装などに使用される
『コンクリート』は、砂・砂利・水・
セメントを混ぜたものを指します。
水とセメントの化学反応によって硬化し、
カチカチに固いコンクリートになります。
コンクリート造の建築物は、新しいものの
ように感じますが、実は…ローマ帝国時代
から使われている建築資材です。

(現代のコンクリートとは違い、
セメントと、“ポツォーリの塵”
と呼ばれる火山灰が主成分らしい)
堅牢性と耐久性は現代コンクリートより
優れ、鉄筋コンクリートの耐用年数が
50~100年なのに対し、古代コンクリート
(ローマン・コンクリート)は2000年前の
ものが現存している、失われた技術です…



↑『生コン』を型枠に流し込みます。



↑コンクリートが固まりました(^_^)

《大工さんのアイテム》

フォークリフト

荷物を持ち上げたり、運んだりする機械。前方についているフォークを荷物の下やパレットに差し込み、リフトします。重い資材をたくさん運搬するため、大工さんはだいたいフォークリフトを操作できます！現場や資材置き場はスペースが限られているので、狭い場所で小回りがきくように前輪ではなく後輪が動くんです。慣れないと不思議な操作感です。とても便利な半面、事故も多く、、、確実に安全マニュアルに従って操作する必要があります。決してフォークに乗ったりして遊んではいけません！！



人の力では
持ち上げが
ない重山物も
軽々だぜ！



▽荷物を持ち上げる「フォーク」です。「爪」とも呼んだりします。幅を変えられるので、用途に応じて調整して使用します。何度も言いますが、フォークに乗って作業をしてはいけません(ーメ)



↑「パレット」と呼ばれる、資材を乗せる台。プラ製や木製があります。穴の部分にフォークを差し込んで荷物を運ぶ、現場の必需品。

～和紙畳おもてのご紹介～

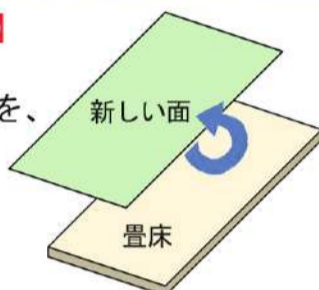
古くなった畳を、おもて替えや新調する時におすすめしている畳があります。通常は従来のいぐさ（国産、または中国産）を使用しますが、「機械すき和紙」を畳おもてに使った畳です。いぐさの畳おもてと比べて日焼けしにくく、カビも発生しにくく、傷もつきにくい！そして抗菌仕様！撥水性も抜群なので飲み物などをこぼしてもさっと拭き取るだけでキレイになります。



←色合いもさまざま！和紙畳のカラーの一例です。

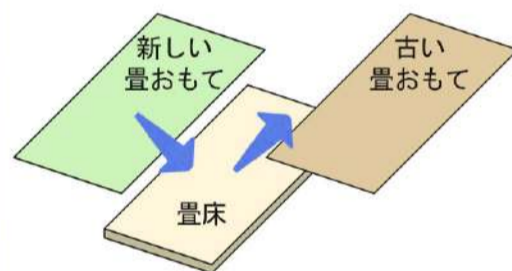
【裏返し】

古い面の畳おもてを、裏返して新しい面にする。



【おもて替え】

畳おもてを新しものと交換する。



※畳を踏んだ時にぶよぶよと沈むような時は、畳床も交換時期なので、畳の新調をご検討ください。



※施工例

↓↓↓このような畳はありませんか？

- ・汚れやシミがある
- ・カビが落ちない
- ・ささくれが目立つ
- ・歩くとぶよぶよする
- ・色あせしている
- ・畳の上にカーペットなどを敷いている



これを放置しておくと、カビやダニの増殖を促し、家族の健康に影響を及ぼす可能性もあります。年季の入った畳の裏返し、おもて替え、交換のお問い合わせは、佐藤建業（0244-22-7619）まで、お気軽にお問い合わせください('ω')ノ

あまり考えたことのない…

日本の会計年度は、なぜ4月からなのか？

■説 その壱

一説によると、明治時代の日本は、外国に負けなよう軍備の増強を進めていました。しかし財政的に追い込まれ、明治17年（西暦1884年）には、不足した財源を補うため翌年分の税収を前借りしました。すると、翌年分の税収が少なくなってしまう。尚、当時の会計年度は7月スタートでした。

（地租の納期に合わせるため）

そこで明治政府は予算繰り上げによる破綻を防ぐため、明治19年（西暦1886年）より会計年度を4月スタートに変更する法整備を行います。

これによって、明治18年（西暦1885年）度の期間を12ヶ月から9ヶ月として帳尻を合わせました。

これに合わせて、学校や企業の年度も4月スタートが一般的になった…という説です。



■説 その弐

もう一つの説では、年度の始まりは、農業と深い関係があると考えられています。

江戸時代の主な納税者は農家で、年貢は米で納められる現物納でした。その後、明治時代になって、税金は現金による納付に変わりました。

しかし、秋に収穫した米を現金に換えて納税し、国がそれを確認する…というプロセスを踏むと、どうしても時間がかかるため、4月になった…という説です。



※ちなみに、日本と会計年度が同じ4月からの国は「イギリス、カナダ、南アフリカ、インド」など。しかし学校の年度は、イギリス、カナダ、南アフリカは9月スタートです。う～ん、ややこしい。。

